

広島工業大学建築デザイン学科に入学して、もうすぐ一年が終わろうとしている。今年度は新型コロナウイルスの影響で一年のほとんどがオンラインでの授業になってしまい、例年よりも実習ができずとても悲しい思いをした。また、緊急事態宣言が発令されたことにより、実際に有名な建築物を見に行くことができなかった。そんなわたしが感動した建築物を紹介したいと思う。

わたしが感動した建築物は、広島市中工場の「ecorium(エコリアム)」だ。中工場は広島市吉島の海の手前に建てられた巨大なごみ焼却施設だ。そして、「ecorium(エコリアム)」はその中工場の二階中央部分にある貫通通路のことだ。わたしがこの中工場の「ecorium(エコリアム)」に行ったきっかけは、建築デザイン学科にAO入試で合格した時に出された課題が、中工場に実際に行ってレポートを書くというものだったからだ。進路が建築系の学科に決まって初めて建築を見に行くという楽しさと、なぜごみ焼却施設？という疑問を感じながら実際に見に行くと、わたしはそこで中工場の「ecorium(エコリアム)」に心を動かされた。わたしが中工場の「ecorium(エコリアム)」に感動した理由はいくつかある。

ひとつ目は、中工場の外観だ。中工場はごみ焼却施設であるため、ボリュームはどうしても巨大で、吉島の計画地は埋め立て地であるため地下化にして隠すことも難しい。どうせ都市の中に大きなごみ焼却施設ができるのであれば、逆に最新鋭の焼却装置などを取り入れるなどして、悪臭や有害な空気を出さないごみ焼却施設にし、まるで「ここに綺麗なごみ焼却施設があるよ」といっているような堂々とした外観が素晴らしいと感じたからだ。

ふたつ目は「ecorium(エコリアム)」の空間表現だ。「ecorium(エコリアム)」は大ボリュームな中工場を貫通する幅5m、高さ4.5mのガラス張りのアトリエで、EcologyとAtriumの言葉が組み合わさってできたのが「ecorium(エコリアム)」だ。「ecorium(エコリアム)」はガラスとウッドデッキで構成された通路で、ガラス越しに稼働中の焼却装置を見ることができる。わたしが実際に行って見ると、綺麗なはずがない焼却装置がとても美しく見え、まるでガラス越しに無機質な現代アートを見ているような気分になった。ほかにも白いごみ収集車のカットモデルがあり、それを見てごみ収集車の構造を学ぶというより、ひとつの現代アートの作品を見ているようなインパクトがあった。この「ecorium(エコリアム)」のただのごみ焼却施設の見学の場としてではなく、まるで小さな美術館のような空間表現が素晴らしいと感じたからだ。

みっつ目は、「ecorium(エコリアム)」の軸線の表現だ。この中工場の「ecorium(エコリアム)」は平和祈念公園前から南に延びていく吉島通りの先端にあり、「ecorium(エコリアム)」は吉島通りの延長線上の2階レベルにある。「ecorium(エコリアム)」から海側を見れば、河口部の風景が、陸側を見れば広島市の都市の風景が目に入ってくる。このような「ecorium(エコリアム)」の作りを見て、わたしは「ecorium(エコリアム)」は広島都心部と瀬戸内海の中間に立っている、すなわち都市と自然の境界線上に位置している。つまり、都市と自然の両方を遠望しながら焼却装置やごみ収集車などを眺めることができ、ごみ焼却施設が都市から出てくる廃棄物(ごみ)を自然に戻す役割を担っていることを直感的に理解することがで

きたからだ。

これまで、私は中工場の「ecorium(エコリアム)」の感動した理由について話してきたが、もうひとつ感動した建築物がある、それはデンマークのコペンハーゲンにあるビャルケ・インゲルスの廃棄物発電施設「CopenHill」だ。この建築物は実際には見たことはなく、デザインスタディの授業で初めて知ったが、その時心を動かされた。この廃棄物発電施設「CopenHill」はサステナビリティについて学べる教育施設が設けられており、ワークショップなども開催されているごみ焼却・発電施設だ。しかし、他の廃棄物発電施設と違うところは、施設の構造を利用した様々なアクティビティができるところだ。屋上に緑豊かな公園が広がっており、ハイキングやスキーやクライミングなどの山岳スポーツを、ウォータースポーツが盛んなコペンハーゲンで楽しむことができる。この廃棄物発電施設「CopenHill」の感動した理由は、サステナビリティとアクティビティが融合しているところだ。まず廃棄物発電施設と聞いて空気がきれいと思う人はおそらくいないと思う、そんなところにアクティビティができる設備を設けたということに一番驚いた。そして、廃棄物発電施設で地球温暖化や環境問題について学ぶサステナビリティについて学べる教育施設やイベントを開催しているということは、SDGs に大きく貢献している、この「CopenHill」という建築物は素晴らしいと感じた。以上の2つの中工場の「ecorium(エコリアム)」とビャルケ・インゲルスの廃棄物発電施設「CopenHill」がわたしが感動した建築物だ。